

鉄鋼規格便覧

日・英・米・独・ソ連など十数ヶ国集録

本書の編集方針と特色

- 集録、解説には、メーカーは勿論、ユーザーなど専門家30余名が参加し、2年余にわたる徹底的な検討のうえ、現在必要と思われる全規格を網羅した。
- 見やすくするため集録した規格は、形式や用語の統一を図り、数種の規格を比較一覧できるようにした。
- 内容は適用範囲、化学成分、熱処理、機械的性質、物理的性質、寸法ならびに寸法形状の許容差、試験方法を主体とし、懇切な“注”を加えて利用の便を図った。
- 編集途中にも新規制定や改廃があいついで行なわれたが、最後の校正中に、それらを全部採入れて最も新しい最も正確な資料の掲載につとめた。

特価提供

特価 5,800円 送料 150円
普通定価 6,500円 送料 150円

(特価申込期限・5月15日厳守)

■編集に当って

編集委員長 工業技術院材料規格課長 木下 亨



長年の懸案であった各国鉄鋼規格の紹介解説書ができて、心からうれしい。鉄鋼メーカーより、むしろ需要者の方から、何か鋼材規格の便覧か対照表のようなものはないかと常に質問を受けていた。JIS はさておき、外国規格は、かなり大量で複雑なものが多く、入手に時間がかかり、かつ高価であり、また各国語を理解することは相当に困難である。

鉄鋼が一段と国際商品となった今日、この要望に応えるため鉄鋼協会の標準化委員会をバックにして便覧の編集に着手した。日本をはじめ主要十数カ国の国家および団体規格の概要を解説し、個々の鉄鋼規格の内容については、抄録ならびに解説を行なった。全体を見やすいものにするため表を中心にし、数種の規格を一つの表にまとめるよう努力を払った。これで現在実用的に必要なと思われる規格は、ほとんど網羅されている。

編集には、学界・業界・官界の専門家があたり、二カ年間に十数回の委員会を開催し、内容検討のため深更に及ぶこともしばしばであった。また編集途中、規格の新規制定や改廃があいつぎ、そのつど最新版に改めるよう努めて、やっと脱稿したものである。

このような便覧は編集と校正に長期間を要し、発刊がかなり遅れてしまったが、ようやく本書を世に出すことができるわけで、各方面に広く利用していただくとともに御批判を頂きたい。

推薦のことは*■鉄鋼の生産・流通・使用に従事する人々へ**

工業技術院長 馬場有政



わが国の鉄鋼業は量的にも品質的にも、まさに世界一流の域に達している。また、鉄鋼の主要消費者である機械製造、造船を始めとする重化学工業や土木建築業も国際的にみて著しい進展をみせている。これに伴い鉄鋼の輸出入も増大し、JIS 鋼材の国際商取引が拡大するとともに、海外規格による鋼材の生産ならびに利用も増加している。

今日、本格的な開放経済体制に入り、今後わが鉄鋼業の発展を図るには、いっそう生産を合理化し、産業の国際競争力を強化する必要がある、その方策の一つとして鋼材の標準化を、いっそう推進するとともに、国際標準化事業との連携を強化することが必要である。

今回、日本鉄鋼協会がJIS を初め諸外国の鉄鋼規格を集大成した「鉄鋼規格便覧」を刊行されることは、この意味において、まことに時宜を得たものであり、鉄鋼の生産・流通・使用に従事する人々にたいへん便利であるばかりでなく、国際的視野から鉄鋼JIS の認識を新たにすることはより、わが国の工業標準化の推進にも寄与するところが大きいものと考えられる。本便覧がこのような目的に広く活用されることを期待するものである。

■現場技術者の座右の書として

日本機械工業連合会 副会長 橋 弘作



近年の機械工業の発展はめざましく、輸出も逐年大幅な増加を続けている。

このような情勢のもとで、我々機械工業に従事する現場技術者が、諸機械の設計及び製作にあたり鉄鋼材料の各国諸規格を使用する機会が非常に多く、かねてより手軽に利用できる便覧が望まれていた。

今回、「鉄鋼規格便覧」と云う本書が新しく日本鉄鋼協会の手によって刊行されたことは、我々鉄鋼ユーザーにとって、まことに時宜に適した企画であり、慶ばしいことである。

本書は、その道の専門家によって使用頻度の多い主要規格を体系的にまとめられ、現場技術者に必要な機械的性質、化学的成分等を網羅し、ひと目で理解できるように表が中心になっている。

鉄鋼材料の使用の合理化を通して、わが国諸工業の発展を期待し、本書を現場技術者の座右の書として広く推薦する次第である。